

# リニアがある山梨が目指す姿と 実現に向けた取組について

令和元年12月20日  
山梨県

# WG議論を踏まえた方向性

## ● なぜ、ビジョンをつくるのか？

- ✓ リニア駅ができるだけでは、**爆発的なインパクトが期待できない**  
(新幹線事例では、開業効果を十分に取り込めていない都市も散見)
- ✓ 待ちの姿勢ではなく、**積極的に山梨に来ていただく理由づくり**が必要  
(山梨百年の計として、千載一遇のチャンスを掴みとらなければならない)
- ✓ リニア開業を機に、確実に山梨に富を呼び込み、**県民生活の豊かさに直結**

## ● どのようなポテンシャルを生かすことができるのか？

- ✓ 豊かな自然環境に囲まれながら、**大都市へアクセスしやすい立地環境**  
(豊かな自然環境：世界遺産富士山、日本百名山・山梨百名山、ユネスコエコパーク、自然公園 等)  
(アクセス利便性：品川約25分・名古屋約45分、中央道・中部横断道、首都圏・中京圏の中間地点)
- ✓ 他の中間駅に比較して**ビジネスしやすい環境**  
(駅位置が県都、充実した都市機能、平坦な用地 等)

## ● 何を突破口にして取り組みを進めるのか？

- ✓ 地域特性を活かした「**テストベッドの聖地**」を目指す  
(実証実験しやすい環境を整え、優秀な人材や企業のチャレンジスピリッツを後押し)  
⇒ 山梨を舞台に**イノベーションが創出**され、全国的に**認知度が高まり**、**優秀な人材・企業が集結**  
⇒ 技術革新によって生まれた新たな価値が、**地域産業や県民生活に波及効果**をもたらす  
⇒ **関連産業の集積**や**研究開発拠点**が**形成**され、経済の活性化が図られる

\* 人や企業等を惹き付けるための前提要素となる「生活環境・教育環境の充実」は、県総合計画に位置づけられる各種施策で対応

# 目指す姿と実現に向けた取り組み

## 1. リニアがある山梨で目指す姿

リニアによって大都市圏との時間距離がより近くなることで、豊かな自然環境に恵まれながら、人口分布や地形など、実証実験に適したポテンシャルを活かすことが可能になることから、**テストベッドを突破口に国内外の優秀な研究者等を結集**し、県民や地元企業等も巻き込んだ活発な交流をつくり出していく。

また、先端技術の活用によるイノベーションが生活の中に溶け込み、**未来社会を実装する先進県としての認知度を高める**ことで、更なる交流を生み出し、新たな産業の創出、関連産業の集積や研究開発機能の拠点の形成により「**稼ぐ力**」を養うと同時に、オンリーワンの魅力を有する「**やまなしライフ**」の浸透を図ることで、多彩な人材を惹き付け、**選ばれる県としての地位を確立**していく。

## 2. 優先的に取り組むべき施策

### 地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

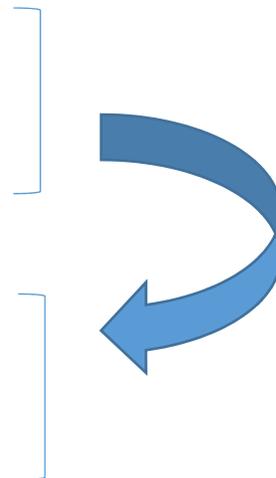
手順・・・テストベッドの誘致に向けて何が必要となるのか  
想定される分野・・・地域特性を踏まえ、どのような社会課題の解決につなげていくべきか  
効果・・・実証実験が活性化することで発現するものは何か

(想定される効果)

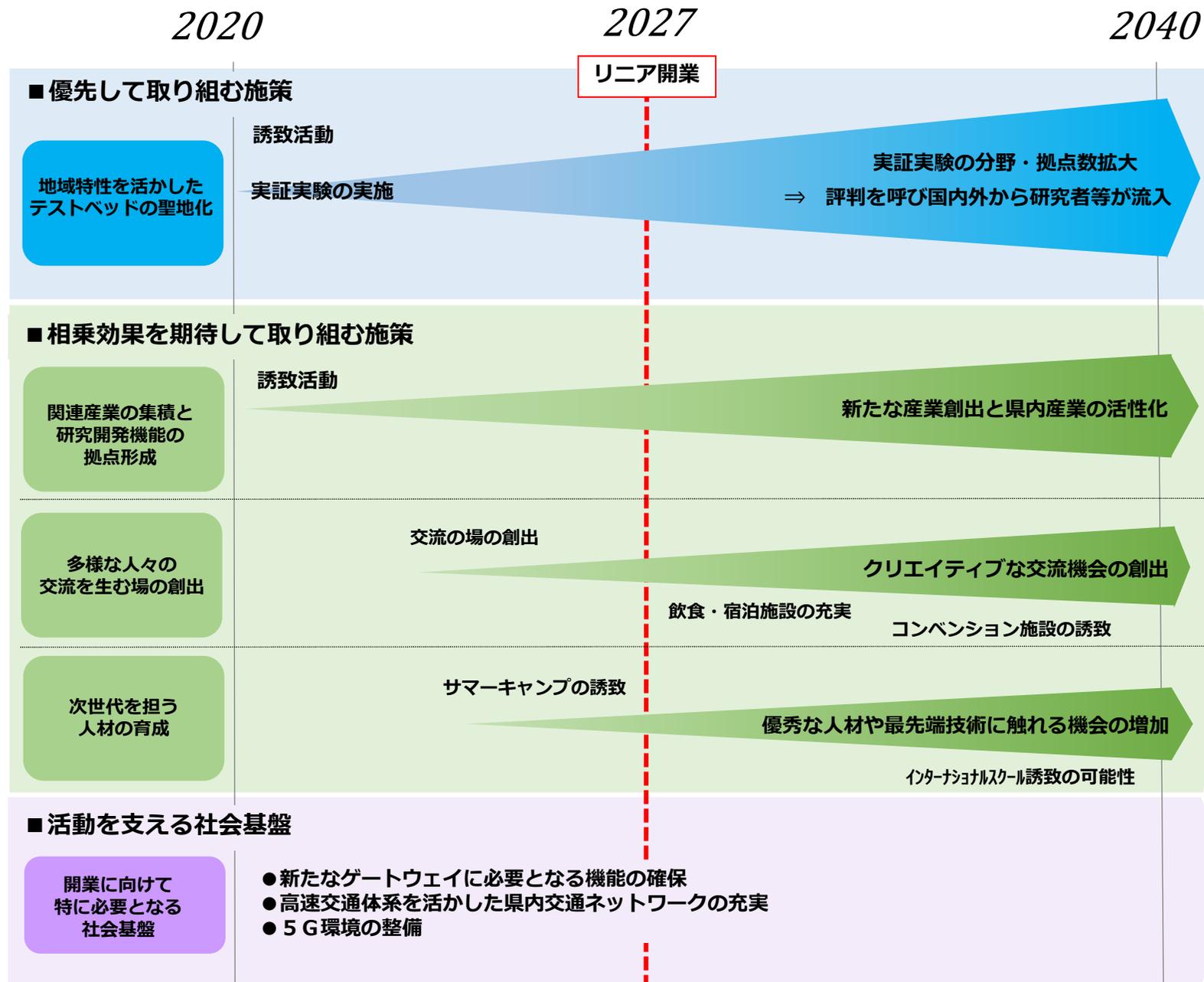
- ✓ 先端技術の社会実装による生活の質の向上
- ✓ 新たな産業創出と県内産業の活性化
- ✓ クリエイティブな交流機会の創出
- ✓ 優秀な人材や最先端技術に触れる機会の増加

## 3. 相乗効果を期待して推進すべき施策

- ✓ 関連産業や研究開発機能の拠点形成
- ✓ 多様な人々の交流を生む場の創出
- ✓ 次世代を担う人材の育成



# ビジョンの展開イメージ



リニア開業効果を活かした取組による経済好循環の創出

県民が生活の豊かさを実感

雇用の拡大、所得の向上

\* 人や企業等を惹き付けるための前提要素となる「生活環境・教育環境の充実」は、県総合計画に位置づけられる各種施策で対応

# 優先して取り組むべき施策と効果

## 施策：地域特性を活かしたテストベッドの聖地化

(考え方)

次世代を拓く才能豊かな人材の交流によって、新たなイノベーションが創発される「テストベッドの聖地」としての地位を確立し、山梨発の研究成果が社会課題の解決に大きな役割を果たしている状況をつくりだすことで、有能な人材の対流を山梨で惹起し、その先に見据える関連産業や研究開発機能の集積の原動力となる、好循環サイクルを構築する。

想定されるターゲット	必要となる手順
実証実験の場を求める企業等 (モビリティ分野) (ロボット分野) (AI・IoT分野) (ライフサイエンス分野) (クリーンエネルギー分野)	<ul style="list-style-type: none"><li>先端技術等の事業化に向けた業界の動向や課題の把握</li><li>国家戦略特区の活用による規制緩和</li><li>受け入れや各種手続き等に係るワンストップサービスの構築</li><li>地元住民や市町村、県内企業等との連携体制の構築</li><li>ターゲット分野に関連する「ビジネスグランプリ」の創設などの仕掛けづくり</li><li>企業へのプロモーション活動による誘致</li><li>実験に必要なフィールド確保のための調整</li><li>社会実装に向けた規制緩和やガイドライン策定などによる支援</li></ul>

### 期待される効果

※赤字はWGメンバー意見（次頁以降同様）

- 先端技術の社会実装による生活の質の向上
- 新たな産業創出と県内産業の活性化
- クリエイティブな交流機会の創出
- 優秀な人材や最先端技術に触れる機会の増加

# 想定されるテストベッド分野

## モビリティ分野

【例】（対応する社会課題）

- ・ 少子高齢化の進展により増加する高齢者や要介護者等の移動弱者の増加
- ・ 公共交通の担い手不足、採算性の悪化による廃止・縮小、交通空白地の発生

（テストベッド）

- ・ **自動運転バス**やA I タクシーなどの導入

（社会実装後の成果）

- ・ 交通空白地域・交通不便地域の解消 ⇒ 域内移動の活発化 ⇒ 地域経済の活性化
  - ・ 交通事故数の減少や交通渋滞による環境負荷の低減 ⇒ 安心安全な社会の実現
- ※ 高齢化率が全国平均を上回り、移動手段が車中心となっている本県においては、様々な場面での活用が期待される

## ロボット分野（配送）

【例】（対応する社会課題）

- ・ **Eコマース市場の拡大によって増加する宅配需要や少子高齢化による物流・運送業界の人手不足（特にラストワンマイル配送要員の不足）**
- ・ 山間部を中心とした過疎地域における買い物弱者の増加

（テストベッド）

- ・ **GPS付きドローン、UGV（自動配送車）を活用した無人配送の実現**

（社会実装後の成果）

- ・ 人手不足の解消 ⇒ 地域の流通機能や交通網の強化  
⇒ 買い物弱者の減少、**都市部と変わらない便利で豊かな生活の実現** ⇒ 人口流出の抑制
- ※ 中山間地域の比率が高い本県においては、災害時の物資搬送での活躍も見込まれる

## ロボット分野（アグリテック）

【例】（対応する社会課題）

- ・ 少子高齢化に伴う農業の担い手不足
- ・ 高品質な商品の安定的な確保

（テストベッド）

- ・ 匠の目：センサーやカメラによるデータ取得
- ・ 匠の頭脳：人工知能やビッグデータ解析による技術・ノウハウの共有（例：作業履歴から収穫時期や収穫量を予測）
- ・ 匠の手：自動・半自動で農作業を行う機器・設備（例：自動運転農機、農業ロボット）

（社会実装後の成果）

- ・ 農作業の効率化 ⇒ **儲かる農業の実現（生産性向上、収益安定化）**、担い手不足の解消

※ 本県はブドウ・桃・スモモの生産量が日本一であり、より高品質で安定供給できる新たな栽培体系も期待される

# 想定されるテストベッド分野

## AI・IoT分野（害獣駆除）

【例】（対応する社会課題）

- ・南アルプスや八ヶ岳における絶滅危惧種や稀少植物での獣害発生並びに獣の過度な採食圧による植生変化や土壌流出
- ・獣害対策に要する自治体の管理コスト増

（テストベッド）

・センサーで感知した獣の出没場所を地図上で蓄積し、出没頻度の高い位置にわなを設置し、獣害対策を効果的に実施  
（社会実装後の成果）

- ・景観及び水源涵養機能や大気浄化機能が維持・回復 ⇒ 豊かな自然と美しい景観が織りなす魅力を求め、来訪者増  
⇒ 環境先進県としてのブランド価値向上

※県土に占める自然公園面積割合は27.1%で、国立公園3、国定公園1、県立自然公園2

※世界文化遺産登録：富士山（H25.6）、ユネスコエコパーク：南アルプス（H26.6）、甲武信（R1.6）

## AI・IoT分野（陸上養殖）

【例】（対応する社会課題）

- ・漁獲量の減少による食料問題と海洋資源の保全

（テストベッド）

- ・IoT/デジタル技術を融合した陸上養殖（例：AIを活用した魚の体調・体重測定自動化や水温・酸素量・給餌等の自動制御）

（社会実装後の成果）

- ・遠隔での監視・制御による管理負荷の軽減 ⇒ 生産プロセスのコスト低減、トレーサビリティの実現による品質管理  
⇒ 安定的な供給、安心・安全で高品質な養殖水産の実現  
※地域のイメージ向上、経済の活性化にも繋がる

（本県の動き）

- ・富士山の伏流水に恵まれていることなどを理由に、NECネットエスアイグループが山梨県西桂町へ陸上養殖場（サーモン生産）を建設することを決定（R2年建設開始、R4年に初出荷を予定）
- ・キングサーモンとニジマスを交配して開発した山梨県の新たなブランド魚「富士の介」の出荷が本年10月に開始  
今後、県水産技術センターで生産技術の早期普及と卵の計画的な供給など、生産量の拡大に向けて取り組みを進める

# 想定されるテストベッド分野

## ライフサイエンス分野

【例】（対応する社会課題）

- ・ 高齢化率の急速な高まりによる社会保障費の増大、労働力人口の減少

（テストベッド）

- ・ 生体データのビックデータ化による住民一人ひとりに最適な健康管理システムの提供

（社会実装後の成果）

- ・ 予防医療の高度化による健康寿命の延伸 ⇒ 高齢者の就業促進、社会参画の推進  
⇒ 労働人口の確保、経済活動の活性化、社会保障費の抑制

※「健康寿命日本一」という本県のブランド力との融合による新ビジネスの創出も期待される

## クリーンエネルギー分野

【例】（対応する社会課題）

- ・ 震災を契機とした災害に強い自立分散型エネルギーシステムの導入に対する気運の高まり
- ・ 温室効果ガスの増加による地球温暖化

（テストベッド）

- ・ 太陽光や水素・燃料電池等のクリーンエネルギーを活用した持続可能なまちづくり

（社会実装後の成果）

- ・ クリーンエネルギーの導入促進による温室効果ガスの排出量削減 ⇒ 低炭素社会の実現  
⇒ 環境先進県としての認知度の向上

（本県の動き）

- ・ 県米倉山太陽光発電所では、日照時間日本一の特性を活かして、再生可能エネルギー（太陽光等）から水の電気分解による水素製造、貯蔵及び利用するPower-to-Gas（P2G）システムの技術開発を実施
- ・ 本県の水素・燃料電池関連産業の振興や人材育成に向けて、12月23日（月）に技術研究組合「FC-Cubic」と連携協定を締結し、リニア駅予定地に隣接する県産業技術センターで次世代燃料電池の研究事業を開始する予定
- ・ 一般社団法人水素供給利用技術協会「HySUT」が、次世代型水素ステーションの実証試験設備を甲府市の米倉山にある県有地に拡充整備して評価試験を開始する予定

# 相乗効果を期待して推進すべき施策

## 施策：関連産業の集積と研究開発機能の拠点形成

- ✓ 先端技術を有する企業等の集積を加速化させ、**新たな産業を興す一大拠点**を形成
  - ⇒ 様々なプレイヤーが集い、先端技術を用いて、様々な分野のテストベッドが活発に展開され、将来性豊かで可能性に満ちた山梨の**認知度の高まり**が、**更なる交流**を生み出す
  - ⇒ 新たなビジネスチャンスを求めて山梨への進出を目論む企業等に**積極的にアプローチ**していき、いくつかの企業等の誘致を引き金に**関連産業や研究開発機能の集積を加速化**させていく

## 施策：多様な人々の交流を生む場の創出

- ✓ クリエイティブな人材や企業を惹き付ける**上質な交流空間**を創出
  - ⇒ 次世代の新たな**イノベーションエンジン**として、研究者をはじめとする**多彩な人材が流入**
  - ⇒ 最先端技術を取り入れた山梨への視察やビジネス目的の来訪者などによる交流が加速するなど、交流の場に対するニーズの高まりにより、**質の高い飲食・宿泊施設の充実**が図られるとともに、**コンベンション施設の誘致**へと繋げていく

## 施策：次世代を担う人材の育成

- ✓ グローバル人材や先端技術に触れられる環境を活かした**次世代技術者等の人材育成**
  - ⇒ 新たな社会課題の解決に向けて研究開発を行う**有能な人材の交流や集積が進む**
  - ⇒ グローバルに活躍する人材や先端技術に触れられる環境を活かして、小中学生を対象に先端技術や英語教育を行う**サマーキャンプ等の教育プログラム**を開催
  - ⇒ 国内外から集まる研究者等の生活環境向上のため、

**インターナショナルスクールの誘致**へと繋げていく